



Kumamoto City

News Release

令和6年（2024年）12月13日

応急手当の見事な連携で尊い命が救われました！

～ 救急事案における応急手当実施者への消防署長表彰 ～

10月31日（木）10時27分頃、南区で発生した救急事案において、突然倒れた心肺停止状態の男性に対し、一般市民が連携して応急手当を実施し、病院到着時に自己心拍及び自発呼吸が再開し、尊い命が救われました。

突然の出来事にも関わらず、連携協力して行われた救命活動に敬意を表し、以下のとおり消防署長表彰を行いますので、下記のとおりお知らせします。

1 日 時 令和6年（2024年）12月23日（月）10時00分～

2 場 所 南消防署（南区平田2丁目13番1号）

3 出席者

（1）個人表彰

藤木 琢也（ふじき たくや）様

宮崎 龍次郎（みやざき りゅうじろう）様

鎌田 日佐虎（かまだ ひさとら）様

（2）企業表彰

西日本電工株式会社 代表取締役社長 釘本 洋（くぎもと ひろし）様

4 表彰者 南消防署長 消防監 本田 宏（ほんだ ひろし）

5 概 要

令和6年（2024年）10月31日（木）10時27分頃、南区にあるゴルフ練習場で一般客の男性が卒倒し、それを目撃したゴルフスクールインストラクターの藤木氏が他の施設利用者に119番通報とAEDを持参するよう依頼し、自身は胸骨圧迫を実施。施設利用者から状況を聞いた当該施設工事関係者の宮崎氏が、隣接する西日本電工株式会社に設置されているAEDを取りに行き、一緒に現場へ向かった同社従業員の鎌田氏が男性にAEDパットを装着しショックを実施。

その後、救急隊が到着し2回目のショックを行うも、意識は戻らなかったため、救急隊員と藤木氏が連携し、救急車内に収容するまで胸骨圧迫を継続したもの。男性は病院到着時に自己心拍及び自発呼吸が再開し、一時入院治療後に退院して、現在は通常生活を送るまで回復したもの。

【お問い合わせ先】

南消防署 警防課

電 話：096—212—0119

課長：宮本（みやもと）

担当者：出田（いでた）